



目指す
府中の
将来像

府中市が目指す将来像を総合計画で創り、その将来像への道筋を計画・ビジョンで示します。

スポーツ推進計画

健康ふちゅう21

地域福祉計画

障害者福祉計画

子ども・子育て支援事業計画

グランドデザイン

地域IoT実装計画

産業振興ビジョン

観光振興ビジョン

第4回目12月広報掲載

第3回目11月広報掲載

第2回目10月広報掲載

第1回目9月広報掲載

第5回目 第2期府中市子ども・子育て支援事業計画

令和3年7月（予定）府中天満屋2階に子育てステーションがグランドオープン

府中市では、全ての子どもとその保護者が笑顔で幸せに過ごせるよう、誰ひとり取り残さない**オール府中**で子育てを応援します。

今の府中市の子育て環境ってどうなの？

特徴

- ▷ものづくりのまちとして、産業基盤の発展を背景に市外からの通勤者などの昼間人口が高い。
- ▷結婚・出産期の女性の就業率が高く、結婚・出産期にあたる20～30歳代の就業率の減少率が低い。

府中市で子育てをする強み

- ▷保育所・幼稚園の待機児童はゼロ。
- ▷全国トップクラスの小中一貫教育。
- ▷コミュニティ・スクール先進地。
- ▷豊かな自然と都市部に隣接し、コンパクトな街。

課題

- ▷子育て家庭へ必要な情報が届いていない。
- ▷共働き家庭に対する支援が充実していない。
- ▷地域の子育て人材の確保が必要。
- ▷親自身が子育てについて学ぶ機会が少ない。
- ▷子育ての不安を気軽に相談できる場が整っていない。
- ▷産婦人科や小児科の不足による医療環境に対する不安感がある。

子どもの成長の記録をアプリで管理できます。予防接種の管理などお役立ち機能が満載です。

子どもに人気のレシピや子育て支援センター、保育所などの情報を掲載しています。

コロナ渦の今だからこそ
①子育てに関する情報発信の充実と強化

府中市母子手帳アプリ 母子モ



母子モの無料ダウンロードはこちら ▶

府中市子育て支援サイト ちゅちゅ



ちゅちゅのホームページはこちら ▶

もっと安心して子育てができる府中市へ

②「子育てステーション」（府中版ネウボラ）による妊娠・出産・子育ての切れ目のない子育て相談・支援の場づくり

みんなが集まる場所 子育てステーション

保健師、助産師、保育士が常駐し、相談がしやすい環境に

府中天満屋に移転すると、保健師、助産師、保育士が常駐します。「子どもの発達のことが気になるけど、どこに相談したらいいのかな」、「子育てがしんどくてちょっと気持ちを聞いて欲しい」など、ちょっと気になることでも相談に来てください！

週末も利用できます

現在、リ・フレで行っている母子手帳の交付などの母子に関する手続きや相談が、府中天満屋の子育てステーションでできるようになります。広谷保育所内にある子育て支援センターも子育てステーション内へ移転し、親子教室やパパクラブなど、子育てに関するイベントや子育て相談なども行います。「平日は仕事があって休めないから相談に行きたくても行けない」という家庭の皆さんも利用しやすくなります。



ハーフバースデーは、毎月開催しています。現在は、予約制ですので、子育て支援センターに問い合わせてください。ハーフバースデーを迎えた子どもたちの写真を31ページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

府中市の強みを活かして、目指すのはココ！

重点ポイント

働きながら子育てをする親が安心して子育てができる環境づくり

「教育のまち府中」の強みを子育て支援に活かすまちづくり

子育て家庭と地域・情報・人を“つなぐ”仕組みづくり

市の少子化を抑える（子育て世代への魅力発信・結婚支援）

誰ひとり取り残さない（全ての子どもの健康や学びの機会の確保）